

VELC Test[®] の概要とよくある質問

Reading Section Part 3
の作問意図と項目特性

熊澤 孝昭
(関東学院大学)

VELC Test[®] の Reading Part 3 についての の質問

- 「長文読解問題がなく、Reading Part 3 で長い文章を読んだ際の理解力を問うことができるかが疑問である」
- 推測される質問の意味
 - 複数の段落から構成された文章がないので**大意理解**したかを問うことができないのでは

長文読解問題の問題点

- 総合問題が出題される場合がある
 - 「見にくい」「やりにくい」テストで、いくつかのスキルを測定しているため何を測っているかが不明（静，2002）
- 問題と問題が独立していない場合がある（独立性）
 - ある問題を間違えると、次の問題も間違える場合がある（静，2002）

VELC Test[®] Reading Part 3の特徴

- 出題意図：語彙力・構文力にプラスαで構成される文章を読解する力を測ります。センテンスとセンテンスの関係を見抜き、論旨の展開を正しく追う力などがわかります
- 問題数：20問
- 問題形式：各設問につき1つテキストがあり、空所にあてはまる選択肢を4つの中から1つ選ぶ
- 文数：1文～5文程度
- 語数：20語～80語程度（平均的には40語程度）
- リーダビリティ（Flesch Reading Ease）：30～80程度で難しい～やや易しい（平均的には50程度でやや難しい）

問題例

- **Invasive species are animals or plants that have entered a new environment.** If there are no predators in the new environment, the invasive species may end up having a very large population. Such unwelcome visitors may prevent animals or plants in the area from getting enough food or water. **In fact**, the second-leading cause of extinction, behind loss of habitat, is ().
 - (A) overhunting
 - (B) species invasion *
 - (C) human-related activities
 - (D) global warming
- **In fact**は前にある内容の補足をする場合に用いる。したがって、正解はB。
- まず、選択肢中にあるspecies、invasion、overhunting、global warmingの単語の意味知識がいる(語彙知識)
- また、**トピックセンテンス**などを含む複数文から構成されている段落の内容を理解する必要がある(**大意レベル読解力**)

VELC Test[®] の読解問題形式の利点

- 一文から一段落という適度なテキストの長さを読ませたうえで設問に解答させることができる
- 各設問につき1つのテキストのみなため、独立性を確実に確保することができる
 - 独立性はラッシュモデルを用いるうえで必要条件となっているため、この形式は理想的である
- この「見やすく」「やりやすい」形式から以下のスキルを測ることができる (Alderson et al., 2015 参考)
 - 文法知識 (接続詞などの文法知識)
 - 語彙知識 (JACET8000での3000レベル程度以上の語彙知識)
 - 推測 (既知情報から推測するスキル)
 - 文レベル読解力 (単文・重文・複文レベルの文を理解するスキル)
 - **大意レベル読解力** (段落全体を理解するスキル)

20項目の測定内容

項目	語彙知識	文法知識	文レベル読解	大意レベル読解	推論
1			1		
2			1		
3	1		1		
4	1				1
5					1
6					1
7	1				1
8	1				1
9	1				1
10	1			1	
11	1				1
12	1				1
13	1			1	
14	1			1	
15	1				1
16				1	
17	1				1
18	1			1	
19		1		1	
20	1			1	7

認知診断モデル

- 認知診断モデルとは (Leighton & Gierl, 2007)
 - 項目応答理論の一種だが、読解力という一つ概念の能力ではなく、細分化されたスキルの習熟度合いを診断する統計モデル
- 推定されるパラメータ(指標)
 - あるスキル(文レベル読解力など)の習熟がどの程度ある項目の正解に影響しているか(r)
 - あるスキル(文レベル読解力など)を習熟している場合のある項目を正解する確率(π)

20項目の測定内容

項目	困難度(π)	語彙知識($r1$)	文法知識($r2$)	文レ読解($r3$)	大意レ読解($r4$)	推論($r5$)
1	.9928			.3489		
2	.9577			.2953		
3	.5954	.4781		.7878		
4	.8399	.3838				.7690
5	.6949					.3278
6	.6660					.4356
7	.4847	.5250				.5724
8	.7379	.4374				.5645
9	.4956	.7678				.6890
10	.7176	.4263			.4620	
11	.3265	.8588				.9285
12	.5169	.4612				.8276
13	.8581	.3736			.5977	
14	.7385	.5553			.6332	
15	.6872	.4654				.6396
16	.9466				.3377	
17	.3834	.7979				.5164
18	.9584	.7454			.5494	
19	.9817		.2564		.7980	
20	.8538	.4822			.5847	9

ご回答

- 「長文読解問題がなく、Reading Part 3で長い文章を読んだ際の理解力を問うことができるかが疑問である」
- 一つの段落全体の理解を大意とした場合、VELC Test Part 3の読解問題は確実に大意レベルの理解を測定しているといえる
- 一段落を確実に理解しているということは複数からなる段落のテキストも読めるといえるのでは

引用文献

- Alderson, C. Haapakangas, E., Huhta, A., Nieminen, L. & Ullakanoja, R. (2015). *The diagnosis of reading in a second or foreign language*. New York: Routledge.
- Leighton, J. & Gierl, M. (Eds.). (2007). *Cognitive diagnostic assessment for education: Theory and applications*. Cambridge: Cambridge University.
- 静哲人.(2002).『英語テスト作成の達人マニュアル』大修館書店.